

与 建 第 2 5 6 号

平成20年9月14日

国土交通省道路局長 殿

与論町長 南 政吾



今後の道路行政についての意見・提案の提出について

平成20年9月19日付け国道企第37号で依頼のありましたこのことについて、別紙のとおり提出します。

1. 地方道路整備の充実

(1) 各地域における港湾空港病院等の基幹施設への幹線道路網は、人や車の利用度が高く極めて公共性の高い路線であり、国や県が積極的に整備すべきである。

(2) 中心市街地道路網は、生活面や防災面から早急に中心市街地道路ビジョンの策定認定制度を設け、特別枠で整備できるよう制度化すべきである。

理由:延長、巾員、B/C等一般道路事業制度に適合しない路線が多く、地域全体の機能性向上の面から一体的な整備要綱が必要である。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ②

②－１ 地域の現状と抱える課題

鹿児島県与論町

○現状

郊外部の道路網整備が優先先行し、中心市街地の総合的な整備が立ち遅れている。(短路線小巾員等)

防災や医療・環境保全等総合的な方面から生活空間を改善し得る制度の拡充が成されていない。

○課題

人口集中地区においては、上下水道・電線路・道路排水対策等、緻密な整備が求められることから面的総合に整備できる制度を策定する必要がある。
(生活に密着した文化的町並み空間の創出)

②－２ 地域の目指すべき将来像

- 1 中心市街地や人口集中地区の面的道路網の整備
- 2 港湾空港等へのアクセス基幹道路の整備
- 3 歩道・側溝・植樹をトータル化し、自然環境に配慮した道づくり
- 4 健康づくりにおいて道路の果たす役割は多大であり、今後の健全な国民生活の推進のため、道路財源の確保は不可欠である。
- 5 国民は道路財源の用途外使用に怒っているのであり、今以上に生活密着度の高い道路整備を充実させて欲しいと願っている。
 今後は体制の改善を推し進め国民生活の向上のため頑張ってもらいたい。